

ふしみさらダボール子育て情報



「親子の絆」
令和4年6月15日号
板橋富士見幼稚園



見えない糸を大切に

毎日、何気なく過ごしている生活の中で、お子様と目をじっと見つめ合うことはありますか。思い返してみると、意外と少ないようです。時には、顔と顔を近づけて、じっと目と目を見つめ合ってみてください。

昔お母さん・お父さんの小さい頃、こんな遊びをしませんでしたか。「にらめっこしましょ、あっぷっぷ」と言って、笑い出すまでじっと目を見つめる遊びです。

実はこうした遊びにも、親子の絆となる意味があったのです。叱る時、叱られた時のその後に、笑顔が戻り、元の仲良し親子に戻るのです。また、外を歩くときは、手と手を繋いで子どもの歩く歩幅に合わせ、ゆっくりと語り合いながら散歩してみてください。親の温もりが、子どもの手を伝わり、子どもの温もりが親に伝わり、安定した心の絆となって、子育てを少し楽にしてくれます。

今の社会は、子どもにとって、また親にとっても、少々慌ただしく落ち着きのない環境です。電子機器が様々な情報を短時間で伝え、考えの及ぶ暇も無く結果を導き、その結果に時に追いつけない事もしばしばあります。人々を便利な方へと誘い、確かに生活は豊かになりました。しかし、子育ては本来、電子機器のようなスピードではなく、ゆっくりと育まれていくものなのです。



この雨季空の中、雨傘の下で手を繋ぎ、水たまりをバシャバシャ歩いてみるのも、子育ての醍醐味かもしれません。このように余裕の時間を少し作れると、子どもとの絆がより強くなり、元々いい子がもっといい子になりますよ。せっかくの子育ての機会を楽しまれてください。

【写真：園庭の杏がたくさん実りました。

どんな香りや味かな…実際に食べて色々感じ取ります。】

